

報道機関各位

長岡市水道局工務課長



県内で初導入

目に見えない漏水も発見！ AIを活用した漏水調査を実施します

今年度、長岡市水道局は、水道管漏水発見の新たな調査手法として AI による衛星画像解析を利用した漏水調査を実施しています。

この調査は、人工衛星から照射した電磁波が湿った地上で反射する特性を利用し、漏水の可能性のある対象エリアを抽出し、さらに水道管の埋設情報と連携することで、目に見えない漏水可能性エリアを検出するものです。



新技術の導入により、調査期間の大幅な短縮による経費削減や、漏水箇所の早期発見ができ、貴重な水資源の有効利用（有収率*の向上）が期待されます。

今年度は寺泊、与板、三島、和島、小国、越路地区の水道管約 583km を対象に実施し、衛星による調査で 247 カ所(87km)に漏水可能性エリアが絞り込まれました。

現在、漏水箇所を特定する調査を寺泊地区で実施しており、報道機関向けに公開調査を下記のとおり実施しますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

漏水確認調査(公開調査)

- 1 日 時 12月6日(水) 午前10時～正午
- 2 場 所 長岡市寺泊北曾根地内
- 3 内 容 漏水探知器を使った漏水調査

4 取材について

- ・ 駐車場は (有)成田建材の駐車場をご利用ください。
- ・ 事前説明を行いますので、午前10時に(有)成田建材駐車場前に集合してください。

探知器を使った
漏水調査の様子▶



※有収率とは

浄水場や配水池から市内に送り出す配水量に対して、料金など水道局の収入として計上される有収水量の割合で、有収率が高いほど効率的で健全な水道事業者といえる。また、漏水が多いと有収率は低下する。

問い合わせ：水道局工務課 高野
TEL 0258-35-0017